

入場無料
予約不要

2019年2月9日 (土)

BIO Mimetics

バイオミメティクス市民セミナー・対話篇

第86回 北海道とバイオミメティクスを考える
その10 持続可能な街づくり

生き物から学ぶまちづくり

～バイオミメティクスによる
都市の生活習慣病対策～

筑波大学 教授

谷口 守

生き物と都市は実はよく似ています。
住宅やオフィスは一つ一つの細胞
道路は大動脈（幹線道路）から
毛細血管（路地）に至る
ネットワークといえます。
生き物も都市も活動続けるための
エネルギーを摂取し、排泄物や
廃棄物が生じます。
また両者とも、「成長し」
「新陳代謝し」「元気であろうとし」
「病気にもなり」「怪我もし」
「治癒し」「老化し」「再生し」
そして「進化」もします。
本講演ではバイオミメティクスの
視点から現代の都市を診断し
都市がどのような生活習慣病に
おかされているかを明らかにします。
その上で都市がどうやって免疫力や再生力を高めて
活力を取り戻していくかについて
生き物に教えを乞うことを通じて
いくつかのヒントを提示します。



人間工学(Ergonomics/Human Factors)は
製品、システム、サービスに関わる人々の
作業効率と健康・安全・安心とを
両立させるための科学と工学です。

この人間工学に基づいて製品、システム、
サービスをデザインする

「人間中心設計 (Human-Centred Design)」
というアプローチ (考え方) があります。

私たちは人間中心設計の考え方に基づいて

新千歳国際空港や

JR千歳駅構内などの

公共施設案内板や

パンフレットのデザイン

および評価を実践してきました。

このセミナーでは、このような

実践例をご紹介しながら、
持続可能なまちづくりに貢献できる

人間工学という学問について

ご説明したいと思います。

利用価値を高める工学

—人間工学とサービス工学—

千歳科学技術大学 准教授

小林 大二

主催:北海道大学総合博物館
共催:高分子学会北海道支部
北海道大学 電子科学研究所
特定非営利活動法人バイオミメティクス推進協議会
協賛:千歳科学技術大学バイオミメティクス研究センター
北海道大学総合博物館
060-0810 札幌市北区北10条西8丁目
問合せ先: TEL:011-706-2658 FAX:011-706-4029
E-mail: museum-jmu@museum.hokudai.ac.jp

会場:北海道大学総合博物館 3階 北講義室(N308)
札幌市北区北10条西8丁目

時間:午後1時30分から午後3時30分